

登録コード	E4600900	開講年度	2026				
授業科目	中等国語科指導法基礎					担当教員	八木 雄一郎
英文授業名	Basic teaching methods of the classroom in Japanese Language					副担当	大井 和彦
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・4時限	対象学生	
講義室	教育N101講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				・中等国語科教員としての専門知に立った教養と教育理念とを獲得することができる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				・中等国語科教員に求められる対話能力、協調性、課題遂行能力を涵養することができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	受講者の学習経験に基づいて生徒の立場から見た望ましい国語科教育の在り方を模索し、具体的な教材・実践事例をもとに国語科授業をいかに構成し実践してゆけばよいかを考察するための諸知識を獲得する。						
(5)授業計画	第1回：オリエンテーション……中等国語科教育を思い出す（八木雄一郎教員） 第2回：国語科学習指導要領の特徴（中学校）（八木雄一郎教員） 第3回：「国語力」の不易と流行（八木雄一郎教員） 第4回：中学校における「話すこと・聞くこと」（八木雄一郎教員） 第5回：中学校における「書くこと」（八木雄一郎教員） 第6回：中学校における「読むこと」（八木雄一郎教員） 第7回：中学校における「伝統的な言語文化」（八木雄一郎教員） 第8回：中等国語科教育におけるICT活用とSTEAM教育（大井和彦教員） 第9回：高等学校国語科における【知識及び技能】【思考力・判断力・表現力等】（大井和彦教員） 第10回：高等学校国語科における科目構成と必修科目（大井和彦教員） 第11回：高等学校国語科における科目構成と選択履修科目（大井和彦教員） 第12回：中高国語科指導案の読み方と書き方（大井和彦教員） 第13回：授業づくりに向けて（大井和彦教員） 第14回：模擬授業 授業アンケート（大井和彦教員）						
(6)成績評価の方法	毎回の授業課題における取り組みと学期末の単位認定課題（レポート）により、以下のレベルで評価する。 ・課題への対応：40点 ・授業時での活動：30点 ・最終レポート：20点 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可						
(7)成績評価の基準	秀：授業内容をきわめて高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題演習に取り組み、高度な活動成果を示している。 優：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題演習に取り組み、良好な活動成果を示している。 良：授業におおむね精勤し、内容をだいたい理解し、講義内容をほぼ理解するとともに、与えられた課題演習に誠実に取り組み、円満な活動成果を示している。 可：授業内容の一部を理解するとともに、与えられた課題演習の一部は誠実に取り組み、部分的に努力の認められる活動成果を示している。 不可：可とすべき内容を満たさない。						
(8)事前事後学習の内容	e-ALPS上に課題及び制作物の提出場所を示すので、それをもとに事前事後学習を行う。 この授業は90時間の学修を必要とする内容である。したがって、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	授業では、ほぼ毎回課題が出されます。出席を怠らず、積極的に参加して下さい。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	空いた時間であればいつでもでも相談に応じます。 Mail: yagi_yu@shinshu-u.ac.jp TEL: 026-238-4076 kazuhiko_oi@shinshu-u.ac.jp TEL: 026-238-4071						
【教科書】	文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』 文部科学省『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 国語編』						
【参考文献】	授業中に指示する。						